

平成27年1月報告用

北関東甲信越ブロック

新潟大学
口腔外科
高木 律男

平成26年度事業(中間報告)

1 HIV歯科医療情報ネットワークの構築


- ① 歯科医師会のHPへの情報提供: 歯科医師会のHPに掲載
- ② HIV歯科医療担当者ネットワーク構築: 病院歯科ネットワーク
- ③ 歯科医療関係者対象の講演会の開催(11月30日(日))
- ④ パンフレットの改訂と更新・再発送: 内容を更新して再発送
- ⑤ HPの拡充: 内容更新(今年度の事業を追加、等)

2 研究活動

- ① 基礎研究: 慶應大学(担当者: 加藤真悟)との共同研究
 - ・唾液によるHIVの感染性について(担当者: 村山、永井)
 - ・唾液中の薬剤濃度(ART療法患者)による病態把握(担当者: 山田)
 - ・著書: 高木律男、山田瑛子、加藤真悟: 非侵襲的検体検査の最前線・第二章唾液・第4章の4.HIV唾液検査の評価. 株シーエムシー出版(本年出版)
- ② 臨床研究
 - ・論文投稿: 永井孝宏, 児玉泰光, 黒川亮, 山田瑛子, 村山正晃, 池野良, 田邊嘉也, 高木律男: 新潟大学医歯学総合病院歯科におけるHIV感染症患者の臨床的検討. 日本エイズ学会誌 16(3): 148-154, 2014.

講演会報告

- ・ 期日: 平成26年11月30日(日)
- ・ 時間: 9時~12時(8時半開場)
- ・ 開催場所: 新潟大学医歯学総合病院 病棟12階 大会議室
- ・ タイトル: **歯科医療従事者のための「知っておきたいHIV感染症の現状と対応」**
- ・ 主催者(後援など): 主催・新潟大学、共催・新潟歯学会、後援・新潟県 cf. 日本歯科医師会生涯研修登録事業
- ・ 当日配布資料: 各講師ハンドアウト、パンフレット、永井論文、HIV感染症歯科診療ネットワーク取組事例集(改訂版)(秋野先生より)、アンケート



歯科医療従事者のための
知っておきたい HIV 感染症の現状と対応

HIV 感染症に対する歯科医師の関与が期待できることが予想される中、医療従事者は HIV/AIDS について、より迅速な対応と治療を望み、今後起こりうる問題を多岐にわたって対応できるように準備と対応を必要とされています。今年度の講演会では、最新の知識を習得していただき、その実践について興味をお感じいただきたいと思います。

日時 平成 26 年 11 月 30 日(日) 9 時~12 時 (8 時 30 分 受付開始)

場所 新潟大学医歯学総合病院 病棟 12 階大会議室

講演 田邊 嘉也 先生
新潟大学歯学部口腔外科 感染管理副部長 (口腔ケア・薬剤師)

秋野 憲一 先生
札幌市保健福祉局保健所 歯科保健担当課長

高野 直久 先生
公益社団法人東京都歯科医師会 理事

問合せ 新潟大学 医歯学総合病院 口腔外科 感染管理科 高木律男
E-mail: takagi@dent.niigata-u.ac.jp

主催 新潟大学 **共催** 新潟歯学会 **後援** 新潟県
(本講演は、日本歯科医師会生涯研修登録事業です。)

講師

- ① 田邊嘉也 先生
(新潟大学医歯学総合病院 感染管理副部長(新潟大学・准教授))
- ② 秋野憲一 先生
(札幌市保健福祉局保健所 歯科保健担当課長)
- ③ 高野直久 先生
(公益社団法人東京都歯科医師会 理事)

講演風景



アンケート結果

- ① 出席者36名
内訳: 歯科医師26名、歯科衛生士2名、看護師1名、学生・研修医6名、その他1名
- ② 歯科医師居住地: 市内15(20)名、中越4名、下越1名、上越1名
- ③ HIV感染者の受け入れについて(歯科医師21名+学生・研修医6名: 計27名が対象)
「はい」1 条件付きで「はい」12 「いいえ」4
記載率 17/27=63.0% 受入可能率 13/27=48.1%

受入条件として挙げられた意見

- 大学等での診察の実際を一度研修してみたい。
- スタッフの合意
- 受け入れる前に講習があると良い。
- 外科処置については依頼したい。
- コストがかかる
- マンパワー不足。現状では不可能。
- 診療所の滅菌の整備、スタッフ研修
- 風評被害が怖い
- 患者様への具体的な対応の仕方を教えていただければ、診療の内容によっては対応できる。
- 病院長やスタッフの同意。医療法人であり他の理事の意見を聞く必要がある。

その他の意見、感想

- 整備のための補助があると良い
- 研修会をスタッフ対象で広報していくと良い。
- 治療にかかる費用など具体的な話が聞けて参考になった。
- 配布資料があつてわかりやすかった。
- スタンダードプレコシジョンの重要性がわかった。
- 行政の取り組みについては、普段なかなか聞く機会がないので参考になった。
- 口腔外吸引装置の有効性が理解できた。
- HIV/AIDSの患者の診療についてはまだまだ壁があると感じました。
- 医療従事者のみでなく国民が誤った知識でなく、正しい知識を持つ必要がある。

反省点&次年度の計画

- 12月1日の世界エイズデーに合わせて開催したが、新潟県でも同様の事業を実施しており、県庁からの参加をいただけなかった。
- 日曜日の朝早く、場所も新潟大学病院内でわかりにくいいため、時間、場所を工夫すべき。*
- 北関東甲信越地区への案内が不足していた。各歯科医師会、県庁への案内と、参加者(各件数名)の旅費を支給する形で、情報発信が必要。*
- スタッフ対象の講習会も開催。*
- 受け入れの可能性がある歯科医院に対して、個別講習(出張講習)も考慮する。

* 次年度予定